

東村山稲門会ニュース 第13号

H10年 4月 4日 発行
発行責任者、大西 幸夫
編集局 塩見 之一
田口 政澄
事務局、0423-94-6951 小亀 輝雄

I. 会からのお知らせ

◎. 5月定例会の案内

去年11月の総会での、寄本先生の講演『資源循環社会の構築』の後をうけて、当稲門会会員の、上 幸雄さんに、『東村山市のリサイクル運動と市民生活』について下記のとおり講演をお願いして居りますので、皆さまの奮っての参加をお待しております。

日時：5月9日（土）15. 00～16. 30

場所：東村山ふるさと歴史館・視聴覚教室

演題：『東村山市のリサイクル運動と市民生活』

講師：上 幸雄、S47年、教育学部卒

◎. 定例役員会について

- 1月、3月の経験から、ミニ講演会のある月は役員会の時間が不足します、したがって今後奇数月については下記のように変更致します。

- 5月度役員会

日時：5月9日（土） 13. 00～13. 30 発送準備（有志による）

13. 30～15. 00 役員会

場所：上記定例会と同一

なお、一般会員も時間の都合がつく方は気楽にご参加ください。

◎. 3月の講演会要旨

3月8日 講師 東村山市役所、生涯教育部長 西村良隆氏

3時開始の予定が、その前の役員会の時間が長びき、残念ながら講演時間が不足して、用意された内容を充分同うことができませんでしたが、その概要は下記の通りです。

- ① はじめに、挨拶代わりとして、早稲田大学と東村山市のかかわりについて、正福寺の地蔵堂は早大教授だった田辺 泰先生が、その重要さを発見され紹介したことから東京都下唯一の国宝に指定されたこと。

その後、その教え子である稲葉和也先生（現在は東海大教授）が東村山建築史に関して、いろいろ調査、紹介をされたこと。

また、当会、会員の市川暢男氏、吉村正氏が市の教育委員会に貢献されたことなどが、お礼を兼ねて紹介された。

- ② 市を知る手段として、下記4本のビデオを上映

(1) 東村山の四季、(2) 正福寺地蔵堂 (3) 鉄道の発達 (4) 瞳の中の風景

- ③ 東村山市の社会教育、および、その現状と課題、について

- ④ 質疑応答（含む要望提案）

(1)社会教育に関する、予算決定のしくみはどうなっているか

—原案はそれぞれの担当課で立案し市議会を通して決定する。

(2)東村山市内には200名以上の人数で会議とその後の懇親会を同一建物でできる場所がない、公民館など市の公共施設であっても懇親会の飲食を許す柔軟性があるか

—現在、市役所の職員でも所沢の施設を使ったりしている、検討課題としたい

(3)小学校関係の会合で多人数の入る会場がなく、マンションの施設を使っているが使用料が高い、補助金支給を考えられないか

—補助金については、いろいろ問題があり簡単にはいかない

(4)現在、下宅部遺跡の発掘調査が進んでおり、その後、遺跡公園にするという話を聞くが、その可能性は

—市教育委員会は勿論、市議会もそれを望んでおり、現在、都と協議中である。

なお、東久留米に遺跡公園の前例がある。

同好会だより

園芸クラブ

去る 3月 7日三宅さんのお骨折りにより、園芸クラブの初会合が市内久米川辻のスカイラークで開かれ、初会合でありましたため、編集局の塩見が取材のため飛び入り参加致しました。

かねてより役員会などで藤沢博恭さん（昭29 政）は園芸の造詣が深い方であることが屢々話題になっており、また個人的には稲門会ゴルフでお見かけしており、約一時間の藤沢さんの主として「鉢植栽培の基礎、ランの特性、桜草の栽培その他」のお話を楽しく聞かせて戴きました。参加者8名のうち女性参加は3名で、どちらかと言うと花づくりは、温室作りと、腐葉土・肥料などの重量物の仕入れは男性側が受持ち、花を愛でながらの水遣りと温度・湿度管理はこまやかな女性の気配が必要と聞いており、夫婦・親子の協同作業として最適との印象を受けました。

藤沢さんの講義内容は多岐にわたって奥深く、講義のメモを取りましたが既に印刷された資料があり、折りに触れて藤沢さんから直接ご披露戴くことが誤りを防ぐ最善策としてここでは特に触れません、（以上塩見取材）

園芸クラブのご案内

稲門会ニュース第11号でご案内致しましたとおり、第1回園芸同好会を上記により昼食をはさんで催しました。（8名出席）

藤沢氏は日本全国の東洋蘭協会会長で、内閣総理大臣賞等受賞されておられます。当日は蘭の栽培を中心に、お話を伺い和気藹藹のうちに時の経つのも忘れるほどでした。同氏のご造詣の深さに驚嘆すると共に種々ご教示を頂きました。紙面をお借りし、あらためて御厚礼申し上げます。

さて次回の会合を下記のとおり催します。自由参加ですのでご家族同伴でもご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

11時 平成10年 4月25日 10時30分

J R三鷹駅南口改札前集合

行先 東京都立神代植物公園(0424-83-2300)

入園料 大人 500円

丁度、桜草が園内で咲きそう頃で花を愛でつつ散策したいと存じます。終了後一緒に名物の深大そばを味わっては如何でしょうか。（雨天中止）

連絡先 三宅良太(94-5298)

絵画同好会

ようやく春めいて画家にとって最適な季節が巡って来ました。四月から梅雨時までの二ヶ月余りが春の絵画シーズンで、これと思われる所にはイーゼルを立て初歩からプロまでの絵描きがより新しい美を創造しようと技を磨きます。

絵画の面白さは同じ薔薇を描いても人によって描き方がそれぞれ違うことで、モチーフの見方やその表現の仕方は固有の感性によるものと言われております。

画家に九十才代の現役高齢者が多いのは、感性の保持の仕方がうまいからという見方があります。事実、画壇には良い意味で枯れて落着いた色調の作品を次々と発表する先輩達が多数居り、指先も驚く程確かです。

3月14日の例会では、国宝指定の正福寺の地蔵堂をスケッチしました。

正福寺地蔵堂の屋根の反り具合の美しさには定評があり、京都の寺とは趣きが違いますので通りすがりにでもその遠望と近くでの観察を試みて下さい。どちらかと言いますと女性的な優しいラインの屋根が男性的な力強い屋根組みに支えられており見事なものです。

（塩見之一）

4月の例会を下記により行います。スケッチブックや描きかけの作品をお持ちより下さい。晴天の時は市内のスケッチに出ます。

記

例会日時 4月11日(土) 13:00～

集合場所 中央公民館1F ロビー

連絡先 宮 ☎ 91-7542

塩見 ☎ 95-3718

ゴルフ同好会

○ ゴールデンウィークゴルフのお知らせ

4月18日(土)の第3回会長杯コンペには、18名という多勢の方にエントリーしていただきました。なお2名の余裕がありますので、参加ご希望の方は幹事役(井垣・松永)迄お電話下さい。

引き続き、大西さんのお世話で、ゴールデンウィーク初日の 4月29日(祝)に、長瀬カントリークラブ(埼玉県)で、3組(12名)のプレーを計画しました。料金を16,600円(食費別)と特別料金です。嬉しいじゃありませんか。

お早めに、下記までお申し込み下さい。
(申し込み多数の場合は抽選)

記

申込先 井垣 和太 ☎(96)3100

知っ得ゴルフ(1)

実際にコースに出てプレーをしない人でも、話の輪には入って相槌を打つほど身近になったゴルフというスポーツ。

「紳士のスポーツ」の名の下に意外と勘違いや、勝手な解釈が多いのも事実。そこで知っておれば得する話題を18ホール分集めてみました。(ゴルフ同好会 井垣)

1番ホール

ゴルフは穴へ入れるゲーム。穴をホールといいますがその大きさは直径108ミリ。

108はどこかで聞いた数字ですが除夜の鐘と同じ数。即ち人間の煩惱の数と同じ。この穴目指して我先に争って棒を振り回すあなた。間違っ「今日の穴は小さくて入れ辛い。」などと言ってははいけません。『欲ばっかりかいてるから入らないのよお客さん。』

郷土史の会

ご案内

3月22日(日)13時30分から前回1月25日に引きつづき同好会メンバーの伊藤友己氏(昭51政経)より主に市内多摩湖町出土の瓦塔について各種の文献を引きあいに詳しく説明を聞き、諸々意見交歓を行いました。

(出席者 9人)

次回は下記の日程で同じく同好会のメンバーの進行による座談会形式ですすめます。

記

日時:平成10年 5月23日(土)13時30分~16時
場所:東村山ふるさと歴史館(予定)

会費:500円

東村山の歴史や文化について知っていること、興味のあること等を持ちより話しあう予定です。どうぞお気軽にご参加くださいますようご案内致します。

代表幹事 三宅 良太 (94-5298)

なおニュース11号誌上でご案内致しました第3回郷土史の会の講師小峰孝男氏(東村山市役所市史編さん室勤務)の説経浄瑠璃の会が、3月20日(金)所沢市民文化センター(ミューズ)で催され、一、石童丸 二、「日高川入相花王」の二曲を演じられました。そしてこの度、同氏は名跡三代目若松若太夫を襲名され賑々しくご披露されました。拍手喝采。以上

麻雀同好会

第三回麻雀大会を3月29日(日)におこないました。年度末もものかわ、腕のなる雀士13名マージャンMに集結。はやる心を押さえるべくその前に約1時間、久保、町田両幹事により花見の打合せが行われた後、今回初参加の佐野氏を迎えて3卓にて半荘4回の激戦に突入。後半、塩見幹事が油絵持参で応援に駆けつけられました。

優勝は、総会会報の発行でご尽力いただいた山下氏、準優勝は当同好会の会長の小野氏、3位三宅、4位長井の各氏でした。今回は会費による賞品の他に仕入れ値なしの寄贈品を加え華やかな表彰式でした。スピードくじで100万円当たった方はいませんか？

皆さんご協力有難うございました。なお受賞のゴルフボールを佐野、木谷氏よりゴルフコンペにといただきました。合わせて感謝。この後同場所にて恒例の懇親会、選評・花見・ゴルフ・他同好会の話題等で賑やかな楽しい時を過ごしました。

次回は大会を6月14日(日)に、開催したいと思います。なお、マージャンMさんよりお花見の差し入れをいただきましたのでお知らせいたします。

(会長 小野、田口 95-4077)

思い出の地（一）

塩見 之一

一、まえがき

齢七十才を過ぎますと、出生地から始まり小学校から大学までの通学路に関わる数々の思い出、徴兵され入隊した教育隊と転戦先の負傷によっておぼろげとなった記憶、戦後の就職先と国内・外の旅行先などの比較的鮮明な記憶などが時を選ばずに甦ることがあります。

思い出や記憶の中の土地柄と主な登場人物は時がたつにつれて浄化され、思い出の地が美しい場所であったり親族や恩師などお世話になった方々との出来事が楽しさの累積でありそれが全てであることを望みたいが、大正末期生まれの私にとってそんな甘い話は作りごとになり、鍛えられ続けた人生では仇役が沢山居なければ強くなれないし、強くなければ今まで生きて来れなかったことを嫌やと言うほど経験した。

今特に印象に残る思い出と言えば、プラス面では幼時体験に始まる家族関係と早稲田での人間関係、マイナス面では戦争体験と学園紛争になります。

幼時体験から入るとすれば、生地の新宿区（今の新宿区の一部）市が谷付近と母方の親族が住んでいた赤坂溜池から山王下にかけての一带が中心となり、江戸時代の名ごりを残していた町屋が印象的でした。

二、赤坂山王下

母方の祖父は池田藩士で、不法に江戸に流出した備前の銘刀を追って江戸屋敷に入り明治維新の混乱を経て永田町に定着し、当時としては珍しかったクリーニングを手掛け武家の商法を開くことになり、母方の伯父や叔父は赤坂溜池や牛込薬王寺町に展開して祖父を助けることになる。

父は尾張の熱田神宮近くの旅館の末子で、母の姉の夫と牛込市が谷で食料品店・食堂・タクシー会社の多業種を経営した。これは昭和初期の大恐慌を切抜けるための手段であったとのことで、当時の早朝から深夜までの労働は現代では考えられない激しさで、地方出身者が東京に拠点を築くことの難しさを子供の頃から肌で感じた。

母の姉の夫で私にとって大伯父にあたる人はよく働きよく遊ぶ多趣味で金離れの良い人で、東京大震災の頃に当時珍しかったモーターボートを買込んで海釣りをやり、月に二回は商売物のタクシーを動員して親族を乗せ赤坂や浅草仲店通りの料亭で散財した。学齢以前の私は食べるだけ食べればすぐに飽きて子守りに連れられて近くを歩き回るのが習慣となっており、赤坂山王坂の上り下りが適度な運動となっていた。坂の頂上から赤坂見附通りの低地越えの青山・六本木方面の眺めは、子供心にも美しく映った。

（この項続く）